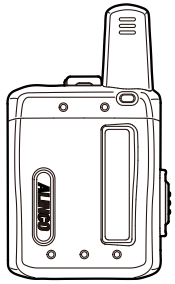
ALINCO

PS0967
FNFN-NE

特定小電力ハンディトランシーバー
（総務省技術基準適合品）

DJ-PX7

取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。
詳細機能については弊社ホームページをご覧ください。

本製品は別売りのイヤホンと充電器が必要となります。ご使用になるときは背面のゴムキャップを取り外し、10番スイッチをONにします。

アルインコの製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本製品は免許、資格不要の特定小電力無線電話です。日本国内なら誰でも用途を問わず、各種通信にお使いいただけます。
本製品の機能を十分に発揮させ効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますので大切に保管してください。また補足シートや正誤表などが入っている場合は合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。

アルインコ株式会社 電子事業部

東 京 支 店	〒103-0027	東京都中央区日本橋2丁目3-4	日本橋プラザビル14階	TEL.03-3278-5888
名古屋支店	〒460-0002	名古屋市中区丸の内1丁目10-19	サンエイビル4階	TEL.052-212-0541
大 阪 支 店	〒541-0043	大阪市中央区高麗橋4丁目4-9	淀屋橋ダイビル13階	TEL.06-7636-2361
福岡営業所	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東2丁目13-34	エコービル2階	TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間/ 10:00～17:00 月曜～金曜（祝祭日及び12:00～13:00は除きます）
ホームページ https://www.alinco.co.jp/ ＞事業案内＞電子事業部 をご覧ください。

使用前のご注意

■ご使用環境
本製品は防水、防じん構造ではありません。水分や粉じんが無線機内部に入って故障した場合、保証の対象にはなりません。水がかかる環境や高温多湿、直射日光があたるところ、粉じんが多い場所は避けてお使いください。汗や工場で出る鉄粉などは意識していなくても内部に入りがちですので特にご注意ください。

■分解しないで
特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けたりすることは絶対にしないでください。

■使用禁止場所
本製品は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。
（航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺）
本製品を使用できるのは日本国内のみです。国外では使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

■通信距離
通話できる距離は周囲の状況や取り付け方によって大きく異なります。
・河原など障害物がない平地、見通しのよい道：200m程度
・市街地や住宅街など障害物が多い所：50 ～ 100m 程度
・店舗などの建屋内：30 ～ 50m 程度

・建屋内の縦階層間の通信はフロアが障害物になるため、直線では数十メートル近距離であっても通信できないことがあります。このような場合は中継器を設置することで通信エリアを広げることができます。
・人体を含む障害物やアンテナの向き、歩くなど移動による影響を受けると、通信距離は半分程度まで短くなることがあります。
・トンネルのような閉鎖空間ではUHF電波伝搬の特性により近距離でも通話できないことがあります。

■第三者による傍受
電波を使用している関係上、無線機器の通信は第三者による傍受を完全に阻止することはできません。そのため機密を要する重要な通話に使用することができません。

■グループトーク機能について
従来製品とグループトークによる通話をおこなった際、受信音声が途切れることがあります。このような場合は違うグループ番号に設定変更してお試しください。

■バッテリーセーブについて
電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約5秒間キー操作がないと、この機能が動作します。信号を受信するか、キー操作でバッテリーセーブは解除されます。バッテリーセーブ動作時に信号を受信すると、通話の始めが途切れる場合がありますが、異常ではありません。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

3分制限（3分以上は連続で送信できません）

10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。
中継通話の場合も連続した中継動作が3分を超えるとタイムアウトします。

3分の通信時間制限により自動的に通信が停止したあとは、約2秒たたないと送信できません。

キャリアセンス（受信中は送信できません）

一定の強さ以上の信号を受信しているときは[PTT]キーを押しても送信できません。
受信中に[PTT]キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

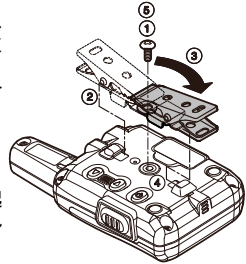
注意 「ビープ音+音声ガイダンス」をオフに設定している場合、アラーム音が鳴りません。

付属品と取り付け方

付属品をご確認ください。
□ クリップ+ネジ1本（本体に装着済み） □ストラップホルダー
□ 取扱説明書2枚 □保証書

注意 保証書にご購入の日付が記載されていないときは領収書やレシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

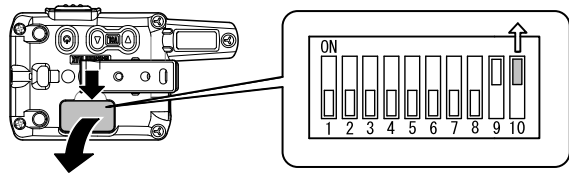
クリップの付け替え

本製品のクリップは装着済みですが、使用する向きに応じて付け替えることができます。ネジを取り外し、クリップを逆向きに取り付けてください。
付属品以外のネジを使うと無線機本体が破損します。規格以外のネジは使用しないでください。

ストラップホルダー
市販のストラップをお使いになる際は、クリップを取り外し、ストラップホルダーに付け替えてください。ストラップを突起物にひっかけたり、シュレッダーのような機器に巻き込まれないよう注意してください。けがの原因となります。

メモ 本製品はアンテナを上に向けて装着するのが基本です。マイクが2個搭載されており、上下逆に装着する際は9番スイッチを切り替えて使用するマイクを選択します。

定期的にクリップのネジにゆるみがないか点検してください。クリップは消耗品です。保守部品（EBC-44）として販売しています。お買い求めの際は販売店にご相談ください。

お使いになる前に（内蔵バッテリーについて）

本製品にはリチウムイオンバッテリーが内蔵されていますが、出荷時には十分に充電されていません。ご使用になる前に主電源（10番スイッチ）を入れ、別売オプションの充電器で満充電してください。スイッチの切り替えには先端が鋭利ではないものをお使いください。設定完了後はゴムキャップを元どおりに取り付けてください。

注意
・本製品をしばらくご使用にならないときは安全のためや、リチウムイオンバッテリーの劣化防止のため主電源（10番スイッチ）をOFFにしてください。
・長期間保管される場合でも、リチウムイオンバッテリーの劣化防止のために1年に1度程度は満充電することをおすすめします。
・満充電しても使用時間が著しく短い場合はリチウムイオンバッテリーが寿命を迎えています。交換の際は販売店にご相談ください。
・リチウムイオンバッテリーは充電回数や使用状態の如何にかかわらず経年劣化する性質があります。安全にご使用いただくため3年程度を目途に新品への交換をおすすめします。

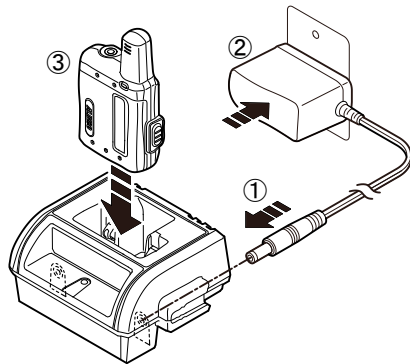
充電器（別売）

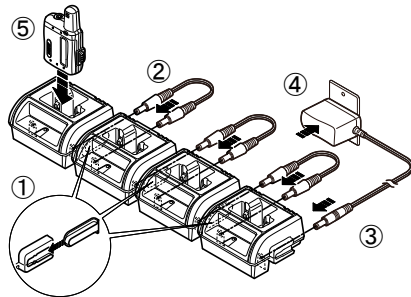
充電器及び関連製品は下記のとおりです。
●シングル充電器セット：EDC-207A（ACアダプター付属） ●5連充電スタンド：EDC-208R
●連結充電スタンド：EDC-207R（連結ケーブル付属） ●連結用ACアダプター：EDC-162

空のリチウムイオンバッテリーを満充電するのに要する時間は約3時間です。
充電器の動作温度範囲は0～+40℃です。

注意 充電するときは本製品の電源（電源キー）を切ってください。電源を入れたままだと満充電にならないことがあります。

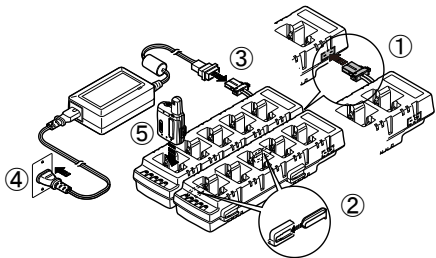
シングル充電器セット（EDC-207A）の使用方法

①ACアダプターのプラグを充電スタンド裏面にある、いずれかのジャックへ接続します。
②ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vへ接続します。
③本製品を充電スタンドのポケットへ挿入します。充電が開始すると赤色ランプが点灯します。
④充電が完了すると緑色ランプが点灯します。

連結充電スタンド（EDC-207R）の使用方法

シングル充電器に連結充電スタンドを3台まで接続し、最大で4台のトランシーバーを同時に充電できます。
①充電スタンド同士を連結します。
②充電スタンド裏面のジャックに連結ケーブルを接続します。
③ACアダプターのプラグを端の充電スタンド裏面のジャックへ接続します。
④ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vへ接続します。
⑤本製品を充電スタンドのポケットへ挿入します。充電が開始すると赤色ランプが点灯します。
⑥充電が完了すると緑色ランプが点灯します。

5連充電スタンド（EDC-208R）の使用方法

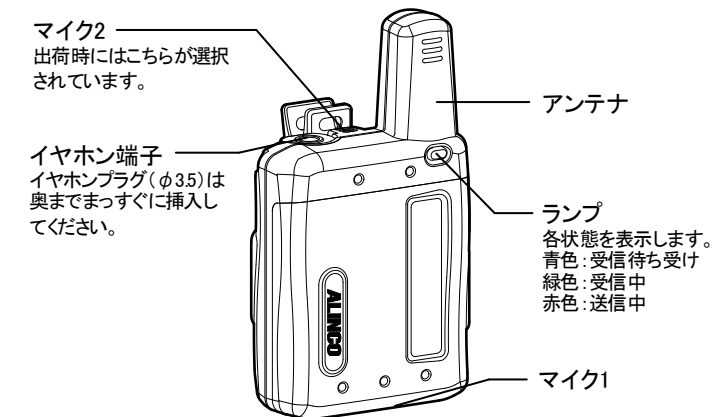
1台の充電器で最大5台のトランシーバーを同時に充電できます。
①充電スタンドと連結用ACアダプター（EDC-162）のコネクターを接続します。
②連結用ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vへ接続します。
③本製品を充電スタンドのポケットへ挿入します。充電が開始すると赤色ランプが点灯します。
④充電が完了すると緑色ランプが点灯します。

5連充電スタンド（EDC-208R）の連結使用方法

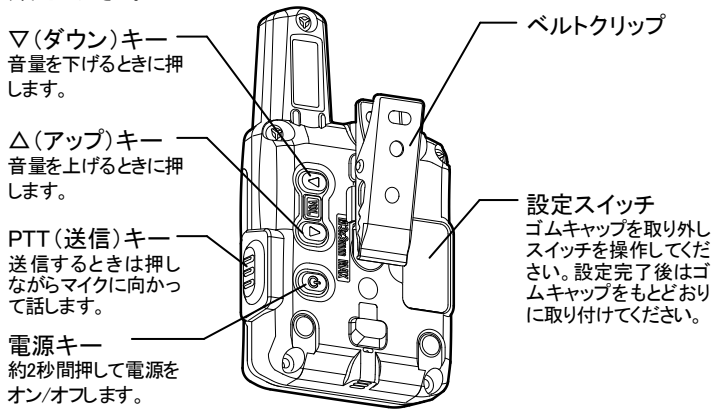
5連充電スタンドを2台接続し、最大で10台のトランシーバーを同時に充電できます。
①充電スタンド裏面のコネクターを接続します。
②充電スタンド同士を連結します。
③一端の充電スタンドと連結用ACアダプターのコネクターを接続します。
④連結用ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vへ接続します。
⑤本製品を充電スタンドのポケットへ挿入します。充電が開始されると赤色ランプが点灯します。
⑥充電が完了すると緑色ランプが点灯します。
⑦スタンドの連結を切り離す場合は、断線を防ぐために先に裏面のコネクターを抜いてください。

・本製品及び充電器の充電端子はときどき乾いた布で掃除してください。汚れていると接触不良の原因となります。
・本製品をいずれかのポケットに挿入すると赤色ランプが点灯するが、別のポケットに挿入すると緑色ランプが点灯する、またはその逆の動作をすることがあります。充電開始・完了を決定する回路の個体差により、このような動作をすることがありますが異常ではありません。
・主電源を入れていない状態で充電器に挿入すると赤色・緑色ランプが点滅することがありますが、一時的に微小な電流が流れるためであり異常ではありません。充電する際は、主電源が入っていることを確認してください。

各部の名前とはたらき

前面

マイク
本製品には上下に2個のマイクを搭載しています。お使いになる向きに応じて9番スイッチを切り替えてください。

注意
・マイク穴にシール類を貼り付けないでください。送信する際の音声を拾わなくなります。
・イヤホンのケーブルに無理な力が加わって断線しないよう、取り扱いにはご注意ください。

背面

設定スイッチ
出荷時は9番以外のスイッチがOFFになっています。ご使用になる際は、主電源をONに切り替えてください。

	項目	初期値	設定スイッチ
1	交互通話/中継通話	交互通話	
2	グループトーク	オフ	
3	PTTホールド（送信保持）	オフ	
4	VOX（音声検出送信）	オフ	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
5	ビープ音+音声ガイダンス	オン	
6	コンパンダー（雑音低減）	オフ	
7	エンドピー（送信終了音）	オフ	
8	コールバック（音声モニター）	オフ	
9	マイク選択	マイク2	
10	主電源	オフ	

各機能説明は弊社ホームページをご覧ください。
https://www.alinco.co.jp/ 「製品情報＞通信技術＞ダウンロード」

基本操作

本製品の基本となる操作方法を説明します。

本書に記載していないカスタマイズ方法や拡張機能については、弊社ホームページをご覧ください。https://www.alinco.co.jp/「製品情報＞通信技術＞ダウンロード」

音声ガイダンス

本製品はチャンネルやグループなどの設定内容、及び各状態を音声ガイダンスでお知らせします。本書では音声ガイダンスが動作することを「鳴ります」と表記しています。

キー操作

「キーを押す」とは、短く押すことを指します。
「キーを長押し」とは、約2秒間押し続けることを指します。

主電源を入れる

ゴムキャップを取り外し10番スイッチをONにします。

電源を入れる

電源キー長押しします。ランプが青色点灯し、チャンネルとグループが鳴ります。電源を切るときも同じ操作で「ププ」音が鳴り消灯します。

電源が入っているときに電源キーを押すと、チャンネルとグループが鳴り、設定内容を確認できます。

イヤホン断線検知機能

電源を入れた直後にランプが赤色と緑色に交互点滅していたらイヤホンが断線しています。プラグが緩んでいないか接続状態を確認し、故障していたら新しいものにお取り替えください。

音量を調整する

▽/△キーを押すと「ピッ」という音が鳴り音量が切り替わります。キーを押し続けると連続して音量が切り替わります。▽/△キーを同時に押して放すと「ザー」というノイズが鳴り音量調整の目安となります。適切な音量に調整してください。

注意 イヤホンを使用するときはあらかじめ音量を下げてください。音量を大きくし過ぎると聴力障害の原因となるおそれがありますので、小さい音から徐々に上げて調整してください。

送信する

PTTキーを押している間送信します。ランプが赤色点灯することを確認し、マイクに向かって話します。PTTキーを放すと受信待ち受け状態になります。

中継通話も同様にPTTキーを押し続けます。「ピピ」音が鳴って中継器にアクセスします。そのままPTTキーを押しながらマイクに向かって話します。
（別途中継器が必要です）

一定の強さ以上の信号を受信しているときはキャリアセンスがはたらき、「ブブブ」音の警告音が鳴り送信できません。受信信号がなくなり、ランプが緑色から青色に変わったら送信できます。5番スイッチがONの場合は警告音は鳴りません。

コールトーン機能

送信中に▽/△キーを押すと呼出音が送出され、相手を呼び出すことができます。
5番スイッチがONの場合は呼出音は鳴りません。

受信する

電波を受信するとランプが緑色点灯し、イヤホンから相手の声が聞こえます。

本製品にはテールノイズキャンセラー機能が搭載されています。受信終了時の「ザッ」というノイズが低減されています。本機能を搭載した弊社機器間の通話においてのみ有効です。

チャンネル設定

交互通話20チャンネル、中継通話27チャンネルの中から使用するチャンネルを選択できます。交互または中継であるかは、1番スイッチの設定で選択できます。
（中継通話の際は別途中継器が必要です）
チャンネルを選択するには△キーを押しながら電源を入れます。ランプが黄色点灯し「チャンネルを選択してください」が鳴ります。▽/△キーを押してチャンネルを選択するとチャンネル番号が鳴ります。そのまま5秒間放置するか、PTTキーを押すと設定が完了します。

既に運用しているグループに本製品を導入する場合は、後述の「ACSHモード」を使用するとチャンネルとグループ番号が自動で設定できます。

グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときはグループトーク機能を設定します。同じグループのトランシーバーは全て同じグループ番号に設定してください。グループ番号は50通りの中から一つを選択してください。

グループ番号の設定

2番スイッチをONにして▽キーを押しながら電源を入れます。ランプが紫色点灯し「グループを選択してください」が鳴ります。▽/△キーを押してグループを選択するとグループ番号が鳴ります。そのまま5秒間放置するか、PTTキーを押すと設定が完了します。

初期状態は01番に設定されており一般的によく使用されます。混信を避けるために01番以外の設定をおすすめします。

チャンネルとグループ番号の自動設定

ACSH「アクシュ」モード(Auto Connect Shake Hands)について説明します。
既に使用しているトランシーバーのチャンネルとグループ番号をスキャンして検出し、本製品に同じものを自動設定する機能です。
キー操作によるチャンネルとグループ番号の設定作業が省略できます。本製品は交互通話及び中継通話においてご使用いただけます。複数台を同時に設定することができます。

概要

ACSH「アクシュ」モード

① ACSHモードで自動設定するトランシーバー（本製品）と、既にご使用中の設定もと(設定済み)トランシーバーを準備します。設定もとトランシーバーはあらかじめ電源を入れておきます。

② 本製品の電源を切った状態で「アクシュモードです」と鳴るまで電源キーを押し続けます。（約7秒間）
ランプが青色と緑色の交互点滅します。複数台を同時に設定する場合は、他の個体も同じ状態にします。

③ 「設定もととなるトランシーバーを送信してください」と鳴り電波の検出を開始します。既にご使用中の設定もとトランシーバーを送信状態にします。このまましばらくお待ちください。数秒から最長で2分程度要することがあります。

④ 電波を検知すると「ピピ」音が鳴りランプが青色点滅します。

⑤ 自動設定が完了すると「自動設定が完了しました」と鳴りランプが緑色点滅します。

⑥ お知らせ後「ププ」音がなり自動的に電源が切れます。電源キーを長押しして電源を入れ直し、正しく通話できることを確認してください。

ACSHモードで自動設定後に各種キー・スイッチ操作でのチャンネルやグループの変更はできませんのでご注意ください。

・ACSHモードでの自動設定は誤判定を防ぐため近距離でおこなってください。近くに強力な外来電波があると誤判定することがあります。

・自動設定中は電源を切らないでください。正しく設定されないことがあります。ACSHモードの動作を途中で停止したいときは電源を切ってください。

・ACSHモードを起動し本製品が電波を検出しているときは、送信側（設定もと）機器のマイクから音声が入らないようにご注意ください。不要な音声により電波が乱されて正常に判定できないことがあります。

・グループ番号の検出においてトーン周波数が近いものは動作が不安定であったり、誤判定することがあります。（例：01番「67.0Hz」と39番「69.3Hz」など）数回検出を試してみても誤判定する場合は、グループ番号を01～38番の範囲に設定してご使用ください。

・自動設定後に手動でチャンネルやグループ番号を変更する場合は、リセットしてください。リセットするとACSHモードで自動設定した内容は消去されますのでご注意ください。

・ACSHモードでの自動設定は本製品のアンテナを上向きにした状態でおこなってください。

中継子機とするとき

中継子機として自動設定する場合は、中継器が発する電波を受信する必要があります。本製品をACSHモードにして既存のトランシーバーから中継器にアクセスします。中継動作中に自動設定がおこなわれます。

注意 ・中継器の周波数帯をA(440MHz帯送信)に設定している場合は、ACSHモードによる自動設定はできません。
・中継器から発せられる電波をスキャンするときは、グループ信号が正常に判定できないことがあります。機器によりグループ信号の波形や精度が異なるためです。このようなときはグループ番号を01～38番の範囲に設定してご使用ください。

受信音ミュート

イヤホンを使用中の受信時に、一時的にイヤホンから聞こえる受信音量を下げる機能です。接客業などで接客中に受信音量を下げたい(ミュート)ときに活用できます。ハンド、タッチ、ボイスの3種類の設定ができます。

ハンド設定

① 1～2番スイッチをOFFにします。
② 本製品の電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーとPTTキーを同時に長押しします。
③ キーを放し「ブブブ」音が鳴ったあとに、「▽ → ▽ → △」の順番で押すと「受信音ミュート ***」が鳴り、ランプが黄色点滅します。
④ ▽/△キー操作で「ハンド」に合わせ、PTTキーを押すと青色点灯し設定が完了します。

操作方法

⑤ PTTキーを押すと「ピピ」音が鳴り受信音量が下がります。
⑥ 再度PTTキーを押すと「ププ」音が鳴りもとの音量に戻ります。

注意 ・ハンドでは送信開始までに遅延が起こるため、音声の始めが途切れる場合がありますのでご注意ください。
・受信音量を下げたあとに一定時間無操作が続くと自動的にもとの音量に戻ります。
・VOX、PTT ホールド機能設定時は受信音ミュートが使用できません。
・ミュート状態でのキー操作はミュートが解除されます。

タッチ設定

① 1～2番スイッチをOFFにします。
② 本製品の電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーとPTTキーを同時に長押しします。
③ キーを放し「ブブブ」音が鳴ったあとに、「▽ → ▽ → △」の順番で押すと「受信音ミュート ***」が鳴り、ランプが黄色点滅します。
④ ▽/△キー操作で「タッチ」に合わせ、PTTキーを押すと青色点灯し設定が完了します。

操作方法

⑤ 選択しているマイク付近を軽くタッチすると「ピピ」音が鳴り受信音量が下がります。
⑥ 再度軽くタッチすると「ププ」音が鳴りもとの音量に戻ります。

・タッチする場合は本製品に強い衝撃を与えたり、高所から落下させたりしないでください。ケースの破損や故障の原因となります。
・タッチではバッテリーセーブ機能が動作せず電池の消耗が早くなりますので、ご注意ください。
・受信音量を下げたあとに一定時間無操作が続くと自動的にもとの音量に戻ります。
・VOX、PTT ホールド機能設定時は受信音ミュートが使用できません。
・ミュート状態でのキー操作はミュートが解除されます。

ボイス設定

① 1～2番スイッチをOFFにします。
② 本製品の電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーとPTTキーを同時に長押しします。
③ キーを放し「ブブブ」音が鳴ったあとに、「▽ → ▽ → △」の順番で押すと「受信音ミュート ***」が鳴り、ランプが黄色点滅します。
④ ▽/△キー操作で「ボイス」に合わせ、PTTキーを押すと青色点灯し設定が完了します。

操作方法

⑤ 選択しているマイクに話すと「ピピ」音が鳴り受信音量が下がります。話している間は保持します。
⑥ 話し終わると一定時間後に「ププ」音が鳴りもとの音量に戻ります。

注意 ・話している音声以外で誤動作してしまう騒音の大きい場所では、使用できません。
・ボイスではバッテリーセーブ機能が動作せず電池の消耗が早くなりますので、ご注意ください。
・受信音量を下げたあとに一定時間話している音声がなくなると自動的にもとの音量に戻ります。
・VOX、PTT ホールド機能設定時は受信音ミュートが使用できません。
・ミュート状態でのキー操作はミュートが解除されます。

拡張機能

拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。
https://www.alinco.co.jp/「製品情報＞通信技術＞ダウンロード」

拡張機能一覧例	
エアクローン	機器間で設定内容を無線通信する機能です。
中継器リモコン	中継器-子機間で設定内容を無線通信する機能です。
連結中継子機	連結中継システム（別売 DJ-U3R）にアクセスするモードです。
アプリ設定	スマートフォンのアプリで本製品を設定するモードです。

減電池お知らせ

バッテリーの電圧が低下すると青色点滅してお知らせします。さらに低下すると点滅周期が速くなるとともに「充電してください」が定期的に鳴ります。本製品の電源を切り充電器に挿入して充電してください。

リセット（初期化）

本製品を初期化するには電源を切った状態で電源+△+PTTキーを5秒間押し続けます。途中でランプが青色点灯しますが、そのまま押し続けると黄色と紫色の交互点滅に変わり「初期化しました」が鳴ります。全ての設定内容は初期化され工場出荷状態へ戻ります。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない ランプが点かない	主電源が入っていない	10番スイッチをONにしてください
	バッテリーが消耗している	充電してください
音が出ない 受信できない	音量が低すぎる	適切な音量にしてください
	相手とチャンネルが違う	同じチャンネルにしてください
	相手とグループ番号が違う	同じグループ番号にしてください
	相手と距離が離れすぎている	通信距離を目安に送信してください
送信できない	信号を受信している	信号がなくなってから送信してください
	3分の通信時間制限を超過している	PTTキーを放し2秒経過してから送信してください
送信音声が相手に聞こえない	マイクの選択が間違っている	正しい向きにマイクを選択してください
充電できない	充電端子が汚れている	充電端子の汚れをふき取ってください
	充電池が劣化している	新しい充電池に交換してください

充電池の残りが少ないとまれに誤作動することがあります。充電してください。

生産終了品に対する保守年限

生産終了後も5年間は補修用部品を在庫しています。不測の事態で欠品した場合には保守ができなくなることがありますのでご了承ください。

オプション一覧

EDC-207A シングル充電器セット（ACアダプター付属）
EDC-207R 連結充電スタンド（連結ケーブル付属）
EDC-208R 5連充電スタンド
EDC-162 連結用ACアダプター（EDC-208R 5連充電スタンドに必要）
EME-66B（黒色） カナル型イヤホン（ケーブル長：約50cm）
EME-67B（黒色） 耳かけ型イヤホン（ケーブル長：約50cm）
EME-67W（白色） 耳かけ型イヤホン（ケーブル長：約50cm）

定格

項目		
送受信周波数	Lチャンネル	421.8125～421.9125MHz
		422.2000～422.3000MHz
		440.2625～440.3625MHz
	bチャンネル	421.5750～421.7875MHz
		422.0500～422.1750MHz
		440.0250～440.2375MHz
制御チャンネル	422.1875MHz、421.800MHz、440.2500MHz	
電波形式	F3E（FM）、F1D（FSK）	
送信出力	10mW、1mW	
受信感度	−14dBu（12dB SINAD）	
音声出力	50mW以上（8Ω負荷）	
通信方式	単信、半複信	
定格電圧	DC3.7V（リチウムイオンバッテリー700mAh）	
消費電流	送信：約67mA（Hi）/約55mA（Lo） 受信定格出力：約102mA バッテリーセーブ：約20mA	
動作温度範囲	−10℃ ～ +50℃（充電：0 ～ +40℃）	
寸法	41.6（W）×52.6（H）×17.2（D）mm ※突起物除く アンテナ長：約22mm	
質量	本体（内蔵充電池含む） 44g 本体（内蔵充電池・ベルトクリップ含む） 50g	

・仕様、定格は予告なく変更する場合があります。
・本書の説明用イラストは実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。
・本書の内容を無断転用することは禁止されています。
・乱丁、落丁はお取り替えいたします。